pigeon 赤ちゃんとママの
にっこり授乳期研究会

【第28回　日本新生児看護学会学術集会　ランチョンセミナー４】

後期早産児を産んだ母親の心のケア

～NICU・GCUに入院した児を持つ母親へのインタビューを通じて～

© All rights reserved by PIGEON Corporation

後期早産児を産んだ母親の心のケア

～NICU・GCUに入院した児を持つ母親へのインタビューを通じて～

座長：埼玉医科大学総合医療センター
総合周産期母子医療センター 新生児部門 教授　加部一彦先生

第1部 インタビューから見えた後期早産児の母親が抱く想い

演者：ピジョンにっこり授乳期研究会　主任運営委員　手塚麻耶

第2部 後期早産児の母親の心のケアを考える

演者：山王教育研究所 臨床心理士／
日本周産期精神保健研究会 副理事長　橋本洋子先生

© All rights reserved by PIGEON Corporation

pigeon 赤ちゃんとママの
にっこり授乳期研究会

はじめに
～後期早産児とは～

埼玉医科大学総合医療センター
総合周産期母子医療センター　新生児部門　教授
加部　一彦先生

© All rights reserved by PIGEON Corporation

第28回日本新生児看護学会学術集会
ランチョンセミナー４
利益相反の開示

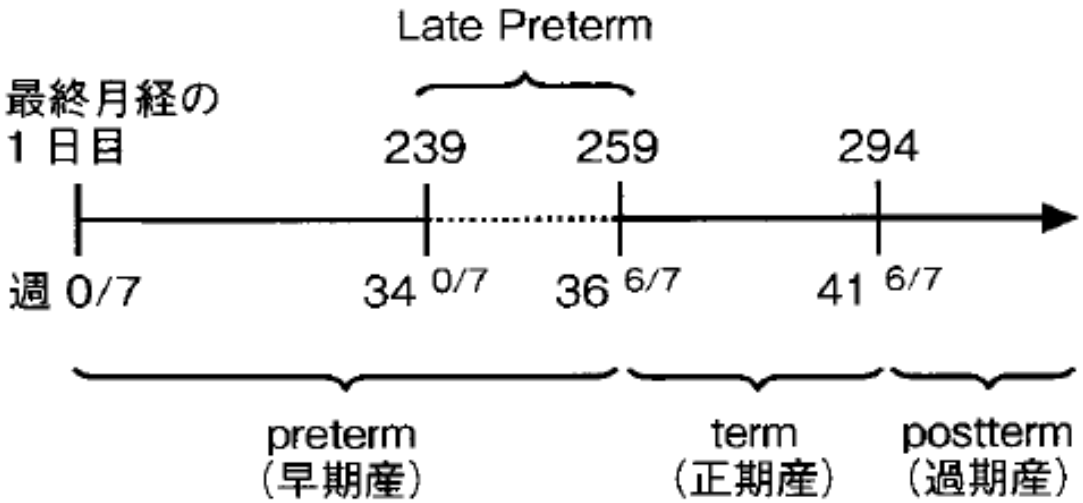
埼玉医科大学総合医療センター
総合周産期母子医療センター　新生児部門　教授
座長：加部　一彦先生

本演題に関連して発表者らに
開示すべき利益相反はございません。

© All rights reserved by PIGEON Corporation

後期早産児の定義

後期早産(Late Preterm)：
妊娠34週以降37週未満の早産[1)]



- 2005年に米国のNational Institute of Child Health and Human Developmentが提唱
- この時期に産まれた児をそれまで慣用的に用いられてきた「near-term」という呼称が「ほとんど成熟している」という印象を与えかねないということから「Late Preterm」と新たに定められた

© All rights reserved by PIGEON Corporation

後期早産児に見られるリスク

- 哺乳障害、低血糖、黄疸、呼吸障害など合併症が正期産の2.9～4.5倍高い[2)]
- 再入院率、救急受診率が高い[3)]

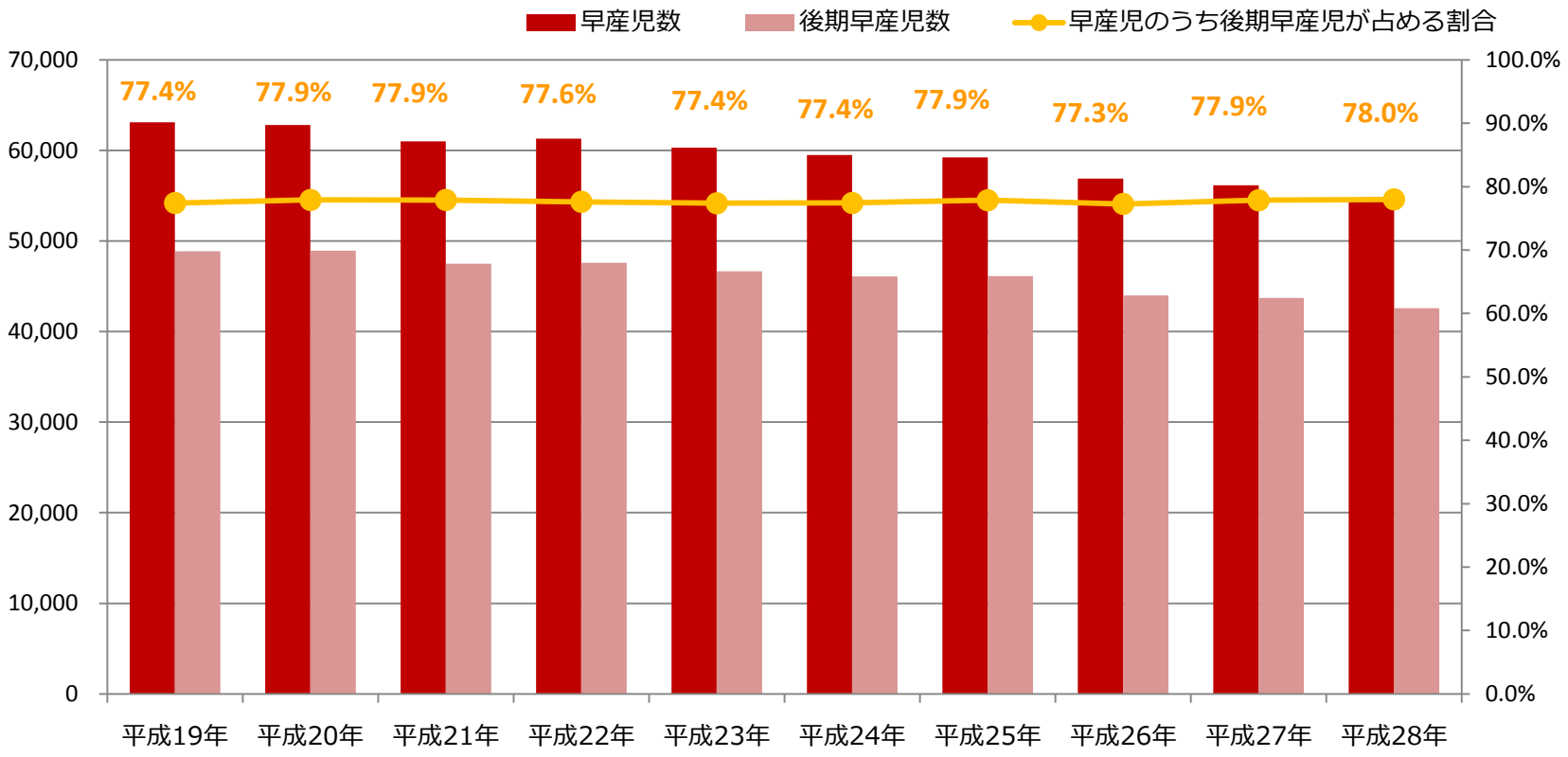
Late Preterm 児と正期産児の合併症発生頻度の比較(Engle ら，2007)

アウトカム	報告者	在胎期間	Late Preterm 例数	Late Preterm (%)	正期産 例数	正期産 (%)	OR (95%CI)	p
feeding intolerance	Wang, et al	35～36$^{6/7}$	29	32.2	7	7.4	—	—
低血糖	Wang, et al	35～36$^{6/7}$	14	15.6	5	5.3	3.3 (1.1～12.2)	0.028
黄疸	Wang, et al	35～36$^{6/7}$	49	54.4	36	37.9	1.95 (1.04～3.67)	0.027
体温の不安定	Wang, et al	35～36$^{6/7}$	9	10.0	0	0.0	∞	0.0012
無呼吸	Henderson-Smart	34～35$^{6/7}$	—	7.0	—	<0.1	—	—
	Merchant, et al	35～36$^{6/7}$	6	12.0	0	0.0	12.0 (4.5～24.3)	0.0267
	Wang, et al	35～36$^{6/7}$	4	4.0	0	0.0	—	0.054
呼吸窮迫	Escobar, et al	34～36$^{6/7}$	345	10.7	975	2.7	—	—
	Gilbert, et al	34～36$^{6/7}$	1,167	3.6	843	0.8	—	—
	Ruballtelli, et al	34～36$^{6/7}$	314	9.6	359.0	0.6	—	—
	Wang, et al	35～36$^{6/7}$	26	28.9	4	4.2	9.14 (2.9～37.8)	0.00001
輸液の必要度	Wang, et al	35～36$^{6/7}$	24	26.7	5	5.3	6.48 (2.3～22.9)	<0.0001
敗血症検査の必要度	Wang, et al	35～36$^{6/7}$	33	36.7	12	12.6	3.97 (1.8～9.2)	0.00015
人工換気	Gilbrt, et al	34～36$^{6/7}$	1,103	3.4	950	0.9	—	—

© All rights reserve

日本における後期早産児の割合

- 平成28年度の日本の全出生数における早産児は約5万5,000人。早産児のうち、後期早産児の割合は約8割と非常に高い[4)]

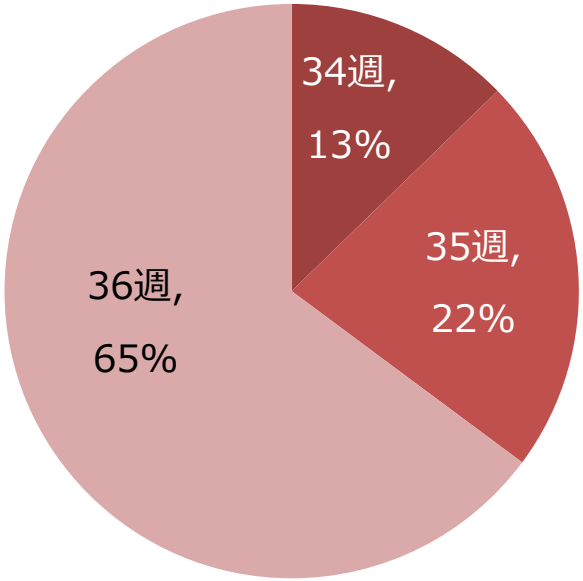


© All rights reserved by PIGEON Corporation

日本における後期早産児の割合

- 後期早産児の中では、出生週36週が65%と最も多い[4)]
- また、36週で出生した児のうち、約半数は低出生体重児である[4)]

平成28年度　後期早産児 出生週別構成比



平成28年度　後期早産児　出生週数別人数

出生週数	後期早産児の人数	後期早産児かつ低出生体重児の人数	構成比
34週	5,419	4,981	91.9%
35週	9,557	7,053	73.8%
36週	27,605	13,074	47.4%
合計	42,581	25,108	59.0%

© All rights reserved by PIGEON Corporation

pigeon 赤ちゃんとママの
にっこり授乳期研究会

第1部

インタビューから見えた
後期早産児の母親が抱く想い

ピジョンにっこり授乳期研究会
主任運営委員
手塚　麻耶

© All rights reserved by PIGEON Corporation

共同研究者のご紹介

pigeon 赤ちゃんとママの
にっこり授乳期研究会

東京情報大学 看護学科 准教授
一般社団法人 産前産後ケア推進協会
代表理事

市川 香織 先生

chiyoiro～ちよいろ～助産院 院長
佐久大学 看護学部看護学科
非常勤講師

高橋 智恵先生

© All rights reserved by PIGEON Corporation

第28回日本新生児看護学会学術集会
ランチョンセミナー４
利益相反の開示

ピジョン（株）コーポレートコミュニケーション室
ピジョンにっこり授乳期研究会　主任運営委員
演者：手塚　麻耶

本演題に関連して発表者らに
開示すべき利益相反はございません。

© All rights reserved by PIGEON Corporation

研究の目的

後期早産児を出産した母親が抱く想いを明らかにする。

© All rights reserved by PIGEON Corporation

研究方法

■研究デザイン
質的記述的研究

■研究参加者
- 末子が後期早産児（妊娠34週以降37週未満で産まれた児）
- その児がNICUまたはGCUに入院した経験を持つ母親
- 末子の年齢が2歳未満

■データ収集期間
2018年1月24日（水）～1月26日（金）

© All rights reserved by PIGEON Corporation

研究方法

■データ収集方法

半構造化インタビュー
（1時間～1時間半程度）

- 家族構成、児の兄弟の有無などの**基礎情報を収集。**
- 今回の妊娠、入院、出産、児のNICU/GCU入院経験、**児と母親の退院後までの経過を時系列で尋ねた。**
- 回答に応じて、オープンエンドな質問を交えて、その時々の気持ちを聞き取り。

研究参加者の背景

pigeon 赤ちゃんとママの にっこり授乳期研究会

- 研究参加者のインタビュー当時の平均年齢は34.0歳
- 初産婦6名、経産婦１名
- インタビュー時の児の月齢は４ヵ月～1歳11ヵ月

ID	B	C	D	E	F	H	I
母親の年齢	31歳	36歳	36歳	38歳	31歳	34歳	32歳
在胎週数	35週3日	34週	36週6日	36週1日	35週4日	36週3日	36週6日
分娩様式	経腟分娩	帝王切開	帝王切開	帝王切開	帝王切開	経腟分娩	帝王切開
末子の出生順位	第1子	第2子（双子）	第1子	第1子	第1子	第3子	第1子
出生体重	1,926g	第１子1,728g 第２子1,258g	2,764g	2,135g	1,763g	1,776g	2,565g
児の入院期間	20日	38日	7日	17日	31日	38日	8日
児のNICU入院理由	早産、低出生体重児、黄疸	低出生体重児	早産	早産、低出生体重児	早産、低出生体重児、逆子	早産、低出生体重児、新生児過性多呼吸、黄疸	早産、呼吸不全
母親の退院日	産後16日	産後7日	産後7日	産後9日	産後8日	産後4日	産後8日

結果

208コードの母親の想いが導き出された。
48のサブカテゴリー、25カテゴリー、７つの時期・出来事に分類された。

時系列

全時期に
共通する想い

出来事

7
時期
出来事

25
カテゴリー

48
サブ
カテゴリー

208
母親の想いが
表出された
コード

結 果

pigeon 赤ちゃんとママの にっこり授乳期研究会

後期早産児の母親が抱く想いの整理ー時期・出来事、カテゴリー、サブカテゴリー一覧

時期・出来事	カテゴリー	サブカテゴリー
妊娠中の想い	妊娠週数の延長への願い	児にできるだけ長くお腹の中にいて欲しい
	管理入院へのネガティブ感情	管理入院に対する不安、不満
	予定が変更になることへの戸惑い	最初に希望した病院で産めない
		予想外の展開に当惑
	自覚や心の準備が不十分	産科的リスクを自覚しきれていない
		帝王切開に対する心の準備ができていない
	普通の妊娠・出産への諦め	予定外の入院出産もしょうがない
出産時の想い	赤ちゃんの無事を願う	児が無事に産まれる時の不安と安堵
	余裕がない	手術は怖い
		児のことを考える余裕がない
	児との面会や早期母子接触への諦め	触れ合う前に赤ちゃんがNICUに連れて行かれた
		早期母子接触ができなかったのはしょうがない
授乳への想い	母乳の理想と現実	母乳がなんとなく良いイメージ
		母乳をあげられなかった
		母乳をあげたいという思い
	授乳の喜び	母乳を飲んでくれた喜び
	授乳の負担	授乳がうまくできず落ち込む
		授乳の大変さ
		搾乳の虚しさ
		児の体重増加への不安
	ミルクの肯定	ミルクでもいいかと思った
		ミルクで楽になった

結 果

pigeon 赤ちゃんとママの にっこり授乳期研究会

時期・出来事	カテゴリ	サブカテゴリ
NICUでの出来事と想い	NICUでの児の状況の比較	NICUわが子とほかの子を比較してしまう
	慣れないNICUでの辛さ	周囲の目を気にして自分の気持ちを抑え込む
		NICUのルールに従う
		母親のみ退院後NICUへ通う大変さ
わが子への想い	わが子の命が優先	自分の希望よりわが子の命が最優先
	わが子に触れることへの怖さ	わが子に触れるのが怖い
	わが子への申し訳なさ	NICUに入院しているわが子への申し訳なさ
	母子分離への葛藤	母子分離はしょうがないけど悲しい
母親に対する サポートへの想い	充分な家族のサポート	家族の支えが心強かった
	家族からのサポートの諦め	家族の支えを期待しない
	自らサポートを求める余裕がない	家族以外のサポートを自ら求めに行く余裕がない
医療従事者の対応への想い	医療従事者への満足感	対応がうれしかった
		対応で安心した
		励みになった
		丁寧に教えてもらった
		連携に対する満足や感謝
	医療従事者への遠慮	質問や相談をすることへのためらいや遠慮
		説明が足りない
		何も言われないので、そのまま受け入れるしかない
	医療従事者への不満	病院の都合に合わせられる
		連携不足に対する不満
		きつい言い方をされた
		淡々と業務の１つとして接せられる
		応えてもらえず諦める
		対応への不信感
	後に出現した医療従事者への要望	医療従事者への要望

後期早産児を出産した母親が抱く想い

1．後期早産児の母親が抱く
「しょうがない」想い

2．自己肯定の機会となりうる授乳

3．医療従事者への遠慮と孤立

1. 後期早産児の母親が抱く「しょうがない」想い

「普通の経過」
とは違う急な展開

⇐

「つまずき」[5]感

自身による振り返り

「しょうがない」想い

母親と児の安全のため
不可避の事実に対して抱く
「しょうがない」

「本当は〇〇したかった」
という想いが残る
「しょうがない」

1. 後期早産児の母親が抱く「しょうがない」想い

「普通の経過」とは違う急な展開

ID	B	C	D	E	F	H	I
母親の年齢	31歳	36歳	36歳	38歳	31歳	34歳	32歳
在胎週数	35週3日	34週	36週6日	36週1日	35週4日	36週3日	36週6日
分娩様式	経腟分娩	帝王切開	帝王切開	帝王切開	帝王切開	経腟分娩	帝王切開
緊急母体搬送有無	有り	無し	無し	有り	無し	無し	無し
母体トラブル	妊娠高血圧症候群	ヘルプ症候群	破水、陣痛促進剤を入れたものの陣痛が来ず、3日後に、緊急帝王切開	妊娠高血圧症候群	切迫早産・妊娠高血圧症候群	胎盤が分厚い	前置胎盤

1. 後期早産児の母親が抱く「しょうがない」想い

当惑し、心の準備ができないまま、事態が進む

ここの病院で産みたいと思っていたので、**ショックで泣いた。**

危ないと言われて、
即入院になってしまった。
予定外で、えっ？という感じ。

まさか帝王切開になるなんて
思っていなかった

（赤ちゃんの）顔は見られたが
一切触ることはできなかった。
NICUの保育器に入れられて、
さーっと行ってしまった。

1. 後期早産児の母親が抱く「しょうがない」想い

「普通の経過」とは違う急な展開に「つまずき」[5]感

「普通の経過」とは違う急な展開

- 予定より早期の出産
- 予定と異なる分娩方法
- 早期母子接触の未実施
- 母子分離

⇐ 「つまずき」[5]感

当惑

心の準備が不十分

理解納得ができないまま

1. 後期早産児の母親が抱く「しょうがない」想い

「普通の経過」
とは違う急な展開

⇐

「つまずき」[5]感

自身による振り返り

「しょうがない」想い

母親と児の安全のため
不可避の事実に対して抱く
「しょうがない」

「本当は〇〇したかった」
という想いが残る
「しょうがない」

1. 後期早産児の母親が抱く「しょうがない」想い

随所で「しょうがない」「仕方ない」

（予定より早い出産になることに対し）**やむなし。どうしようもない。**早く産みましょう、みたいな感じだった。

しょうがないのかもしれないけれど、もう少し赤ちゃんが見られる時間が多かったらよかったなと思った。

（カンガルー抱っこに対して）
病状がそうなってしまったので、それどころじゃないから**しょうがない。**

（入院中は母乳が出るまでミルクだったことに対し）
本当は母乳をあげたかったけど、**まぁ仕方がない。**

1. 後期早産児の母親が抱く「しょうがない」想い

「しょうがない」想いは２つ存在

「しょうがない」想い

母親と児の安全のため
不可避の事実に対して抱く
「しょうがない」

「本当は〇〇したかった」
という想いが残る
「しょうがない」

今思えばそういうの（カンガルーケア）が欲しかったけど、**事態が事態だったので**しょうがないのかな。

後で振り返っても
他に選択肢があったと思えない

1. 後期早産児の母親が抱く「しょうがない」想い

「しょうがない」想いは２つ存在

「しょうがない」想い

母親と児の安全ため
不可避の事実に対して抱く
「しょうがない」

「本当は〇〇したかった」
という想いが残る
「しょうがない」

（入院中は母乳が出るまでミルクだったことに対し）**本当は母乳をあげたかったけど、まぁ仕方がない。**

母乳育児や早期母子接触など、
強い希望やイメージを抱いていた場合

1. 後期早産児の母親が抱く「しょうがない」想い

振り返りによって「しょうがない」と位置づけられた

「普通の経過」
とは違う急な展開

⇐

「つまずき」[5] 感

インタビューまで、
これまでの経緯を
振り返って思い出す
機会がなかった。

自身による振り返り

出産後1年半以上経ったが、今話をしていて、頑張って子育てしなきゃなと思う。

「しょうがない」想い

母親と児の安全のため
不可避の事実に対して抱く
「しょうがない」

「本当は〇〇したかった」という想いが残る
「しょうがない」

1. 後期早産児の母親が抱く「しょうがない」想い

「普通の経過」
とは違う急な展開

⇐

「つまずき」[5]感

自身による振り返り

「しょうがない」想い

母親と児の安全のため
不可避の事実に対して抱く
「しょうがない」

「本当は〇〇したかった」
という想いが残る
「しょうがない」

後期早産児を出産した母親が抱く想い

1．後期早産児の母親が抱く
「しょうがない」想い

2．自己肯定の機会となりうる授乳

3．医療従事者への遠慮と孤立

2. 自己肯定の機会となりうる授乳

授乳は非常に多くの思いに溢れた

母乳の方が栄養がありそうだし、**せっかく子どもを産んだら自分のおっぱいをあげたかった。**

子どもがいないのに夜中に起きてさく乳するのは、**すごくむなしかった。**

ひたすらおっぱいとの**戦い。**

最初は足りなくて、ミルクを足していたのが、今回は全部母乳で済みましたと言われたときには**うれしかった。**

うれしかった。自分のおっぱいにちゃんと吸い付いてくれている。だけど、ちゃんと飲めているのかの**不安もあった。**

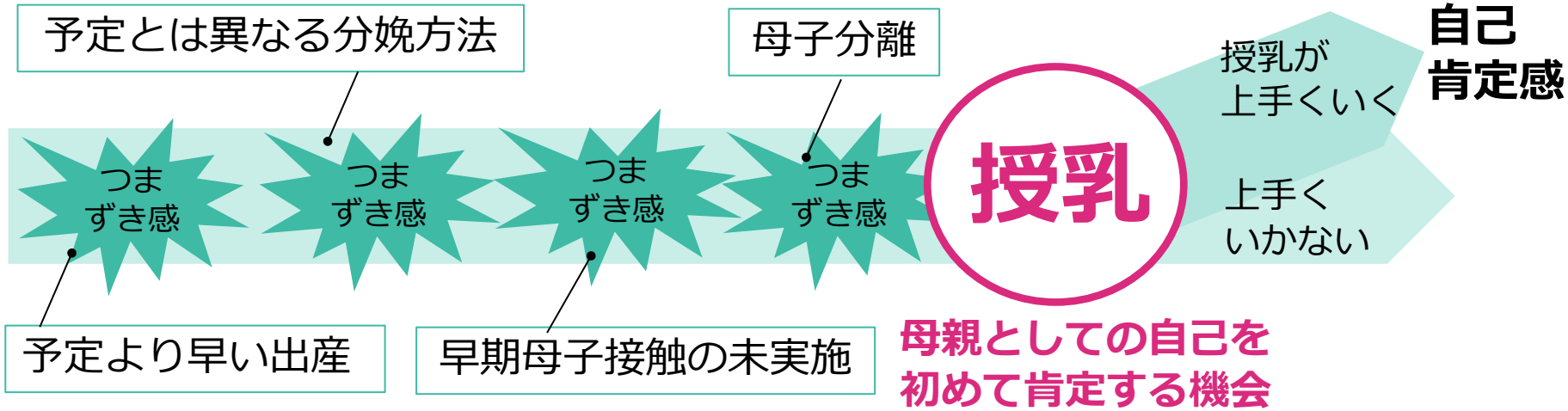
生まれた後、私じゃなくてもっとうまい人がやった方が良いんじゃないかと思って**ちょっと泣いた**こともあった。

すぐ疲れて寝てしまう、またすぐお腹が空いて泣く、みたいな、**地獄の日々。**

さく乳しないで、**早くそのままあげたいなと**思っていた

2. 自己肯定の機会となりうる授乳

授乳は母親としての自己を初めて肯定する機会



（直母になって）**すごいうれしかった。**直接飲んで満足してもらえると、**母親として認められた**ような気持ち。

うれしかった。自分のおっぱいにちゃんと吸い付いてくれている。

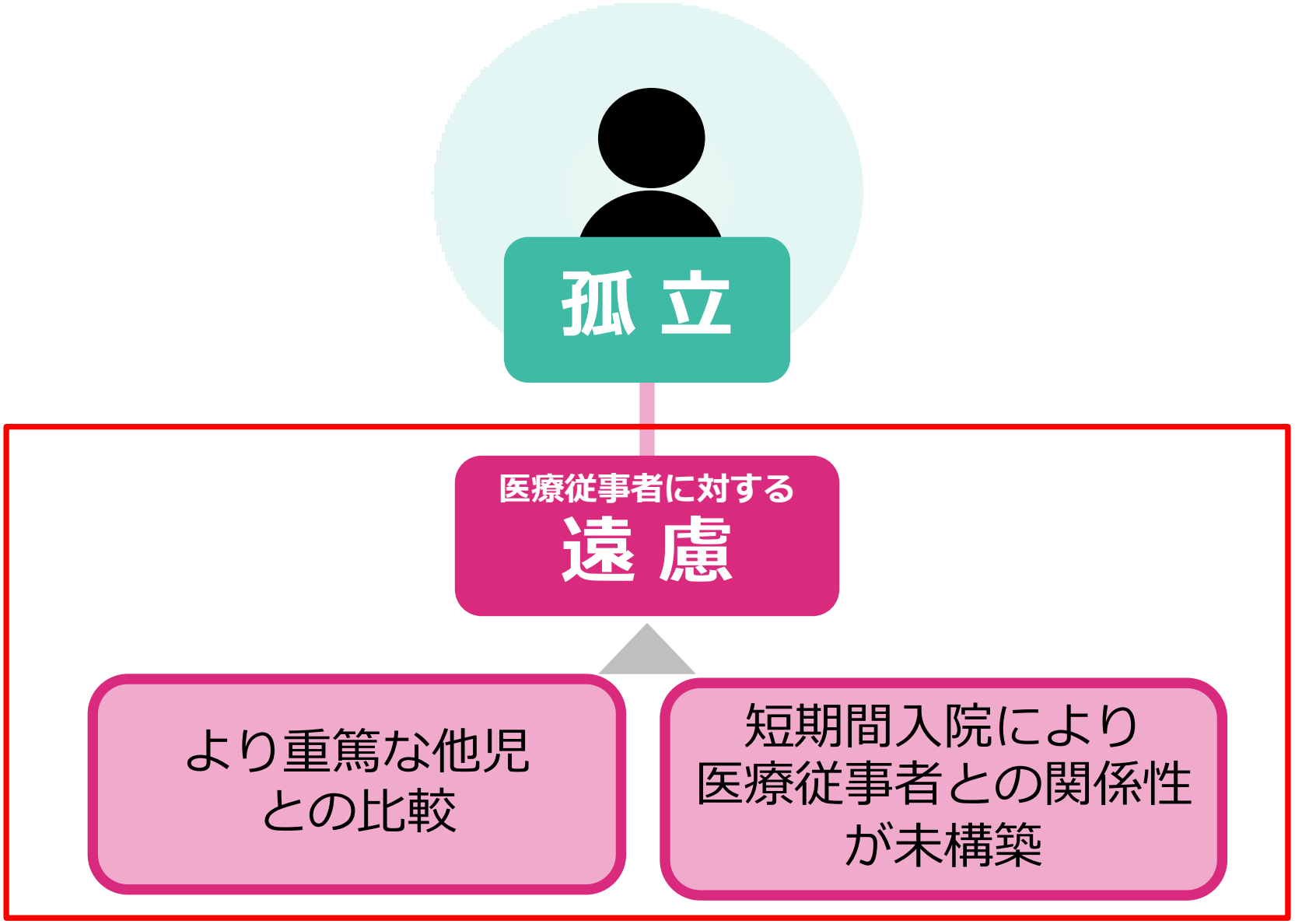
後期早産児を出産した母親が抱く想い

1．後期早産児の母親が抱く
「しょうがない」想い

2．自己肯定の機会となりうる授乳

3．医療従事者への遠慮と孤立

3．医療従事者への遠慮と孤立



3．医療従事者への遠慮と孤立

より重篤な他児との比較による「遠慮」

医療従事者に対する
遠 慮

より重篤な他児
との比較

短期間入院により
医療従事者との関係性
が未構築

変なことを言って悪いですけど、**もっと危ない子もたくさんいて**、そういう子たちを見てしまったので、そっちの方がショックだった。

隣の保育器に**すごく小さい子が入っていて**、若干ショックといったら（親御さんに）申し訳ないんですけど。

3．医療従事者への遠慮と孤立

短期間入院による「遠慮」

医療従事者に対する
遠 慮

より重篤な他児
との比較

短期間入院により
医療従事者との関係性
が未構築

（相談したい気持ちはあったが）
そういう風に決まってるのかなと思った。

先生は何も言わないので、
そういうものなのかなと思っていた。

前 提

NICUは医療従事者に
お任せするしかない場
という認識6)

3．医療従事者への遠慮と孤立

外的要因１

医療現場の
構造的な問題

外的要因２

児が比較的元気
→母親の傷つきに
気づきにくい

医療従事者に対する
遠 慮

より重篤な他児
との比較

短期間入院により
医療従事者との関係性
が未構築

3．医療従事者への遠慮と孤立

医療現場の構造的な問題による「遠慮」

外的要因１

医療現場の
構造的な問題

様々なユニットの
様々な医療従事者が
関わることで
専属的・継続的なケアを
受けづらい
→ケアの隙間に落ちる

外的要因２

児が比較的元気
→母親の傷つきに
気づきにくい

孤 立

医療従事者に対する
遠 慮

3．医療従事者への遠慮と孤立

短期間入院による「遠慮」

外的要因 1

医療現場の
構造的な問題

外的要因 2

児が比較的元気
→母親の傷つきに
気づきにくい

孤 立

医療従事者に対する
遠 慮

児が一定の体重があり、
哺乳も一定程度できる
→児を中心にケアが進む

3．医療従事者への遠慮と孤立

pigeon 赤ちゃんとママの にっこり授乳期研究会

後期早産児の母親は産後のストレスがより高い状態

Table 4 : Moxed Effects Model Results for Emotional Distress at Birth and One Month for the 29 Mothers of Late Preterm Infants and 31 Mothers of Full-Term Infants

	1 State -Trait Anxiety Inventory		2 Edinburgh Postnatal Depression Scale		3 Perinatal Post Traumatic Stress Disorder Questionnaire (PPQ)		4 Worry	
	Birth	1 Month	Birth	2 Month	Birth	3 Month	Birth	4 Month
Group	[illegible]		[illegible]		[illegible]		[illegible]	
Time	2.06 (1.99) *		1.25 (0.93)*		-0.02 (0.47)		2.18 (1.20)**	
CxT	3.15 (2.77)		0.92 (1.29)		-0.07 (0.66)		1.71 (1.67)	

【後期早産児の母親の精神状態を評価した結果】（正期産児の母親との比較）

1．乳児出産後および乳児退院後1ヵ月時での状態不安＊が有意に高かった
2．抑うつ症状は、出産後1ヵ月時で有意に高かった
3．PTSDの評価では、出産後および産後1ヵ月時で高かった
4．児の健康への懸念も、出産後および産後1ヵ月時で高かった
＊状態不安（＝有害なものと判断したとき短時間で誘発される不安な状態）

Brandon DH, Tully KP, Silva SG, et al. Emotional Responses of Mothers of Late-Preterm and Term Infants. J Obstet Gynecol Neonatal Nurs. 2011, 40（6）, 719-731.

まとめ

- 後期早産児の母親は、様々な場面で「つまずき」[5]感があり、「しょうがない」という想いを抱いていることが明らかになった。
- 後期早産児の母親にとって、授乳は自己肯定をしていく貴重な機会となっていた。
- 後期早産児の母親は、NICUの環境下において、医療従事者に遠慮を抱きやすく、孤立をしている。

文献

1） Engle WA, Tomashek KM, Wallman C, et al.“ Late-Preterm” Infants : A Population at Risk. Pediatrics.2007, 120,1390-1401.

２） Kramer MS, Demissie K, Yang H, et al. The Contribution of Mild and Moderate Preterm Birth to Infant Mortality. JAMA. 2000, 287, 839-849.

３） Jain S, Cheng J. Emergency Department Visits and Rehospitalizations in Late Preterm Infants. Clin Perinatol. 2006, 33, 935-945.

４)人口動態調査. e-Stat 政府統計の総合窓口. ＜https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files＞（アクセス日：2018年8月31日）

５）山本正子. M-GTAを用いたNICU入院初期の児をもつ母親の子どもの受容プロセスの研究. 母性衛生. 2009, 49（4）, 540-548.

6） 橋本洋子編. NICUとこころのケア 家族のこころによりそって第2版. 大阪, メディカ出版, 2011.

7） Brandon DH, Tully KP, Silva SG, et al. Emotional Responses of Mothers of Late-Preterm and Term Infants. J Obstet Gynecol Neonatal Nurs. 2011, 40（6）, 719-731.

謝辞

- 日本赤十字社医療センター
  第二産婦人科部長
  笠井 靖代先生

- 埼玉医科大学総合医療センター
  総合周産期母子医療センター 新生児部門 教授
  加部 一彦 先生

- 山王教育研究所 臨床心理士
  日本周産期精神保健研究会 副理事長
  橋本 洋子先生

- 聖マリアンナ医科大学 小児科学教室 名誉教授
  周産期精神保健研究会 顧問
  堀内 勁 先生

© All rights reserved by PIGEON Corporation

pigeon 赤ちゃんとママの
にっこり授乳期研究会

第２部

後期早産児の母親の心のケアを考える

山王教育研究所　臨床心理士
日本周産期精神保健研究会　副理事長
橋本　洋子先生

© All rights reserved by PIGEON Corporation

第28回日本新生児看護学会学術集会
ランチョンセミナー４
利益相反の開示

山王教育研究所　臨床心理士
日本周産期精神保健研究会　副理事長
演者：橋本　洋子先生

本演題に関連して発表者らに
開示すべき利益相反はございません。

© All rights reserved by PIGEON Corporation

周産期心理士として

＊ＮＩＣＵをはじめとした周産期医療の場に常駐し
こころのケアに携わる。

＊重症度や入院日数にかかわらず入院中のすべての赤ちゃんに会い
面会に訪れるすべての家族に声をかけることを基本とする。

＊クベースサイドで家族と共に赤ちゃんを見守りながら
こぼれてくる家族の語りを聴く。

＊必要に応じて、面接室で心理面接を行う。

周産期心理士ネットワーク
会員200名を超えている
（2018年）

© All rights reserved by PIGEON Corporation

後期早産児の母親との出会い

新生児搬送で入院した赤ちゃん
他院で出産した母親の初回面会

赤ちゃんは死んでしまったと思った。
私も死んでしまおうかと思った。

切迫流早産で長期入院していて
出産にこぎつけた母親

生まれました！
ここまで頑張ってくれました。

NICU退院児の家族の会で出会った母親
（生まれて1年以上経っている）

皆さん（超低出生体重児の家族が多い）から見れば全然大したことないのだと思う。ここに来る資格もあるかどうか。でも辛くて。
（皆から「同じよ」とねぎらわれ、号泣）
ありがとうございます。わかってくださる方々とやっと出会えた。

© All rights reserved by PIGEON Corporation

出産・出生と喪失のイメージ

母親にとって
胎内の赤ちゃんを
いったん喪失する体験

赤ちゃんにとって
包まれていた世界を
喪失する体験

再び出会うこと
によって
胎内からの
連続性を取り戻す

出会うことができない時
喪失のイメージは
ふくらんでしまう

時間のイメージ：
クロノス（時計で測れる時間）
カイロス（心理的な時間）

ただし　修復は可能！

© All rights reserved by PIGEON Corporation

周産期は危機をはらむ時

思春期について
河合隼雄は

誰しも深い谷を渡っていく危険な時であるが
多くの人は
霧がかかっていて谷の深さに気付かないために
難なく吊り橋を渡りきることができる。
たまたま谷の深さを知ってしまった人にとっては
思春期を**通り抜けることは非常に困難な仕事**なのだ

と述べている

周産期についても全く同じことが言える

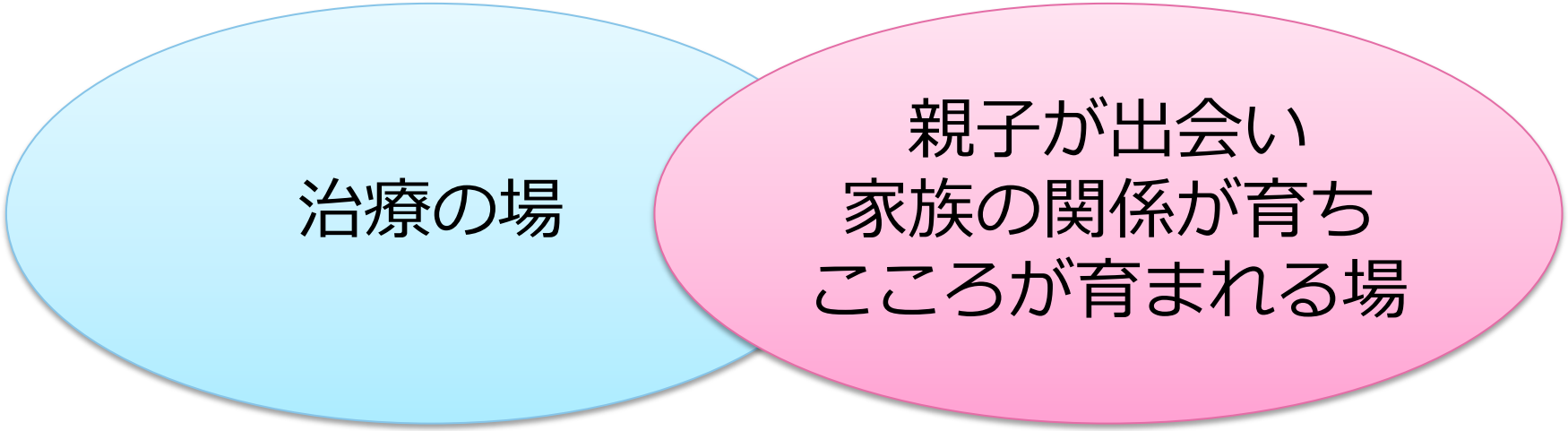
赤ちゃんの重症度やNICU入院日数の多少に関わらず、
早産、NICUへの入院という出来事は、深い谷をのぞき込む体験

© All rights reserved by PIGEON Corporation

NICUという場は

医学的プロセス

自然のプロセス



- 第一に求められるのは、確かな医療看護技術
- 家族支援（こころのケア・支援）も後回しにできない

⇒両方ともそれぞれに追及されることが大切

© All rights reserved by PIGEON Corporation

親子が出会い関係が育つためには

（相乗的相互作用）

子どもが生まれ育つ　⇔　親が生まれ育つ

関係が育つ

自然のプロセスが動き出す

互いの関係に没入する時間を持つ

安心と安全を守り
親子の空間と時間を支える器

© All rights reserved by PIGEON Corporation

NICUにおけるこころのケア の構造
（橋本）

親子のプロセスを守り支える

親が子どもと出会い、関係を育て
親としての自信を育んでいける
ように親子の時間と空間を守る

赤ちゃんが生きることを支え
親をはじめとする世界と交流
できるように環境を調える

赤ちゃんを含めた新しい家族が
家族として育っていく
自然のプロセスを支える

親の内的プロセスを支える

予期せぬ出来事に遭遇して揺れる親の思いを聴き
親自身の内的プロセスに同行する

© All rights reserved by PIGEON Corporation

後期早産児と母親の特徴とは？

正期産児と母親

赤ちゃんの医学的リスクは低い
母子同室/母親が世話
直接母乳/母親が哺乳
一緒に退院
母親の心の傷つきは小さい
自然のプロセスが動きやすい

超早産児と母親

赤ちゃんの医学的リスクは高い
母子分離
直接母乳は長期間不可
入院期間が長い
母親の心の傷つきは大きい
自然のプロセスが動きにくい

後期早産児と母親

どちらにも属し難い

心理士として
言えること

両方のケアの要素が
求められるのでは？

赤ちゃんの重症度と
母親のこころの傷つきの大きさは
比例しない

© All rights reserved by PIGEON Corporation

インタビュー結果のまとめについて

- 後期早産児の母親は、様々な場面で「つまずき」を体験し、「しょうがない」想いを抱いていることが明らかになった。
- 後期早産児の母親にとって、授乳は自己肯定をしていく貴重な機会となっていた。
- 後期早産児の母親は、NICUの環境下において、医療従事者に遠慮を抱きやすく、孤立をしている。

1. 後期早産児の母親が抱く「しょうがない」想い

「普通の経過」
とは違う急な展開

⇐

「つまずき[5]」感

自身による振り返り

誰かに語りを
受け止めてもらう
ことで
収めていく

できるだけ
減らすには？

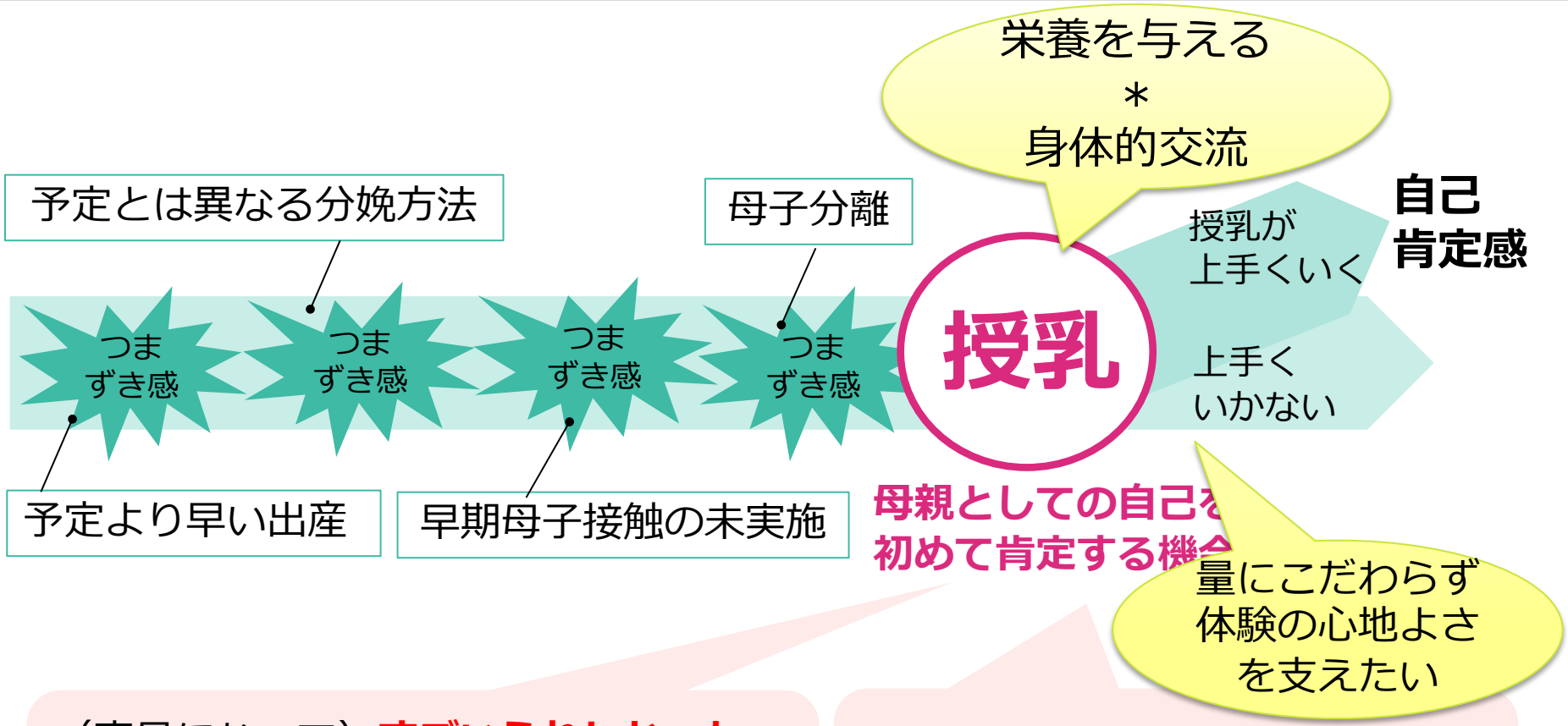
「しょうがない」想い

母親と児の安全ため
不可避の事実に対して抱く
「しょうがない」

「本当は〇〇したかった」
という想いが残る
「しょうがない」

2. 自己肯定の機会となりうる授乳

授乳は母親としての自己を初めて肯定する機会



（直母になって）**すごいうれしかった。**直接飲んで満足してもらえると、**母親として認められた**ような気持ち。

うれしかった。自分のおっぱいにちゃんと吸い付いてくれている。

3．医療従事者への遠慮と孤立

医療現場の
構造的な問題

児が比較的元気
→母親の傷つきに
気づきにくい

孤 立

その中でも
できることを

医療従事者に対する
遠 慮

より重篤な他児
との比較

短期間入院により
医療従事者との関係性
が未構築

後期早産児の母親の心のケアを考える

pigeon 赤ちゃんとママの
にっこり授乳期研究会

1．「後期早産児の母親」としてのケアが必要という共通認識を持つ

2．初回面会時　（例えば…）

＊柔らかい笑顔でウェルカム（そっと「おめでとう」）
＊誰かが付き添って、赤ちゃんの様子や機器の説明を
＊母親が赤ちゃんに集中していくようなら、共に見守る
＊緊張し心ここにあらずという様子なら
「大変でしたね」とねぎらい
「体調は？」「気持ちはついていけていますか？」etc.

3．NICUの中で「できること」「今はできないこと」を説明し
おおよその見通し（退院までのスケジュール）について伝える

NICUの中にあっても、支えられている安心感を！
少しずつ子育ての主体という意識を取り戻せるように！

これらは
正解でもマニュアル
でもありません。
批判的にご検討を！

© All rights reserved by PIGEON Corporation